

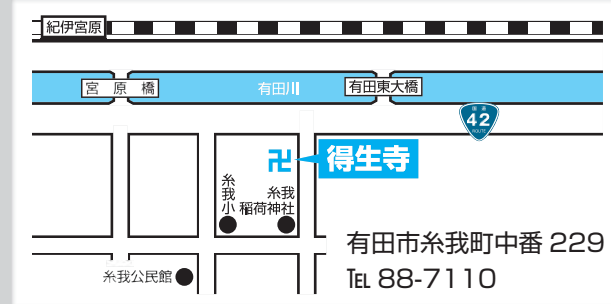
観光ストリート Vol. 3  
— 得生寺 —



得生寺は中将姫伝説の寺として知られています。その名の由来は、中将姫が3年隠れ住んだところに、伊藤春時が草庵を結び、安養庵と称したことに始まります。その春時が剃髪して得生と名乗ったことで、後に得生寺と名づけられました。

毎年、中将姫の命日とされる5月14日に、来迎会式の二十五菩薩練供養が行われています。この会式は和歌山県無形文化財に指定され、平成26年2月には観光資産分野でプレミアム和歌山にも認定されました。

中将姫が二十五菩薩に迎えらるることを再現した来迎会式は、子ども中心で行われており、これは全国的にも珍しく、毎年大勢の観光客で賑わいます。有田市が全国に誇る来迎会式をぜひ皆さんも友だちを誘って観に行きませんか？



中将姫伝説

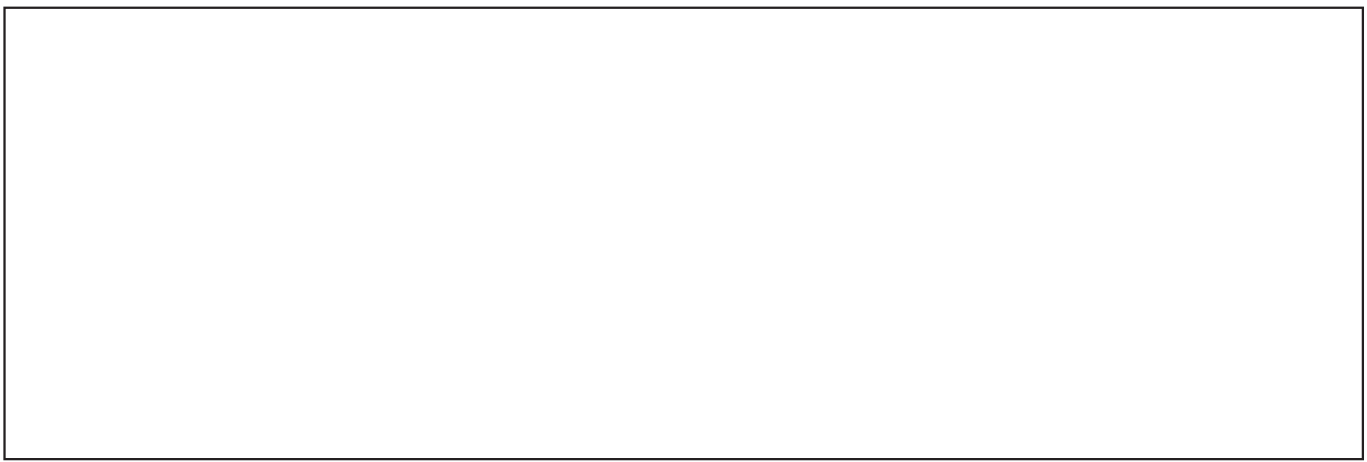


奈良時代の天平19(747)年、右大臣藤原豊成の娘として生まれた中将姫は、3歳で母親を亡くしました。7歳の時、豊成が後妻を向かえますが、容姿端麗で聡明、何事にも優れていた姫は継母に憎まれ、豊成の留守中に、姫を糸我町の雲雀山に捨て、家臣の伊藤春時に姫の殺害を命じます。既にこのことを知っていた姫は、春時が現れても驚く様子もなく、今生の願いとして父母と継母のため称讃浄土経を唱えはじめました。その

姿に心を打たれた春時は、都より妻を呼びよせ夫婦で姫を守り育てました。3年後、偶然狐に来ていた父親と再会した姫は都に帰りますが、17歳の時、大和の当麻寺で剃髪し、法如と名乗ります。3年間で1000巻の写経をし、一丈五尺(約4m四方)の、当麻曼荼羅を一夜で織り上げたと伝えられています。29歳のとき、二十五菩薩が来迎し、極楽浄土へと往生されました、と伝えられています。

—あなたが見た「まちの誇り」をお聞かせください—  
本市では、意外と知られていない名所や史跡、地道な活動をされている人など、まちの誇りとなりうる情報を募集しています。  
■連絡先／〒649-0392 有田市箕島 50 有田市役所秘書広報課TEL／0737-83-1111 E-Mail／hisho@city.arida.lg.jp

広告



国保野上厚生総合病院からこの春外科に赴任しました。「体に負担の少ない手術」に心掛け、特に病気が



どうし ひろき  
堂西 宏紀  
(外科)

有田市立病院新任医師紹介

今年度より新たに設置された経営管理部で職務に取り組みることとなり、また、私生活においても新たな環境に身をおくことになるなど、公私共にチャレンジの年だと考えています。有田市がより魅力溢れるまちとなるよう、精進して参りますので、よろしくお願いたします。



つじかわ かずき  
辻川 和希  
(経営管理部長)

総務省より派遣職員紹介

和歌山県立医科大学付属病院より、この4月に有田市立病院の循環器科に赴任しました。



さとがみ けいすけ  
里神 慶亮  
(循環器科)

この4月より、和歌山県立医科大学付属病院より赴任しました。今まで、肝臓外科を中心に消化器外科医として働いてきました。今まで培ってきた肝臓医としての経験を生かすとともに、有田市の必要とする医療に携わるように励んでいきます。また治療だけでなく、予防の面でも貢献できたらと考えていますので、よろしくお願いたします。



しげかわ よしのぶ  
重河 嘉靖  
(外科)

らくる痛みのコントロールや食事の重要性について栄養にも力を入れ、入院中の患者様はもちろんの事、周辺の各施設の方々とも連携し、日々精進して参りますのでよろしくお願申し上げます。



この4月より循環器科に赴任となりました。以前は和歌山県立医科大学付属病院の循環器内科で勤務していました。有田市立病院の循環器外来では水曜・木曜を担当させていただきます。新天地での環境に早く慣れ、地域の皆様に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いたします。



いまむら さり  
今村 沙梨  
(循環器科)

循環器科では高血圧等を中心とした日常循環器疾患を診させていただきます。地域の皆様に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いたします。

広告

